

## 「放射線治療の今 Vol1」



### 放射線治療科部長

うちだのぶえ  
内田 伸恵

#### 【資格】

日本医学放射線学会放射線治療専門医・指導医  
日本核医学会核医学専門医・PET核医学認定医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本ハイパーサーミア学会指導医

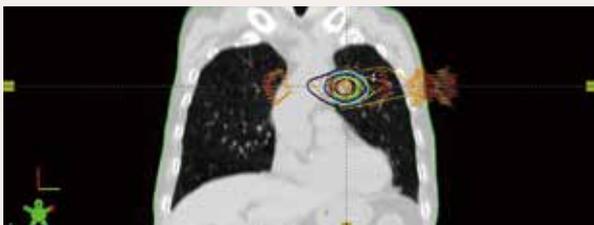


## がん治療の3本柱の1つである放射線治療。副作用が少なく治療成績も向上しています

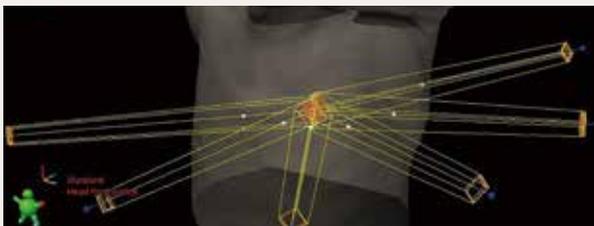
### ●放射線治療とは

放射線治療では、X線などの放射線ビームをがん病巣に照射し、ゆっくりと小さくしていきます。最近では、ミリ単位で病巣の位置を捉え、腫瘍の形に合わせた精密な照射が可能です。当院では、高精度照射が可能なりニアックという装置を使った放射線治療を行っています。治療の際には、がんを治すために必要な放射線の量と、放射線のビームが体内を通過するときに正常な臓器がどれくらいまで耐えられるかのバランスが重要になります。装置や技術の進歩により、以前のイメージと比べて副作用が少なくなり、治療成績も向上しています。

また、放射線治療は全身のがんのI期～IV期すべてのステージに対応することができます。I期では小さいがんへピンポイントに根治的照射、II期やIII期では、臓器の形や機能を残して根治治療することも可能です。IV期になると転移による痛みや出血の症状を和らげる治療として活躍します。



通常よりも高い精度で位置を決めピンポイントで照射する定位放射線治療



周辺の正常組織の被ばくを減らしつつ病変に高い線量を照射することが可能に

### ●放射線治療のメリット

最大のメリットは切り取らないことです。臓器を残したままゆっくりとがんを小さくしていくので、例えば喉のがんであれば声帯を失うことはほぼありません。もう1つのメリットは、合併症のある人にも対応できることです。高齢化が進み、全身麻酔での手術が難しい人も増えています。そのような患者さんにも局所的ながん治療ができる点は、体の負担が少ないがん治療が選ばれる今の時代に合っているといえるでしょう。

また、治療期間は長くなりますが外来通院での治療ができるというメリットもあります。入院の必要がないため、がんの治療と生活や仕事との両立ができるのも大きなポイントです。もちろん手術でしか治らないがんもありますが、今後放射線治療のニーズはますます高まっていくと考えられています。

### ●放射線治療のデメリット

1つ目は治療装置から出た放射線のビームが体内の腫瘍めがけて照射されるとき、皮膚や近くの正常臓器の粘膜に炎症がおこることです。しかしこれは治療が終わって1ヵ月ほどで治ります。当院では予めそのご説明をし、必要ならば症状を和らげる対応をしながら治療を進めています。2つ目は効きやすいがんと効きにくいがんがあることです。放射線の効果を高めるために抗がん剤を一緒に使うことも多いですが、その場合は入院が必要なことが一般的です。そして3つ目は、治療日数がかかることです。外来通院治療が可能な反面、何回かに分けて少しずつ照射していくので、毎日通っていただくこととなります。毎回の治療時間は10分程度ですので、朝の出勤前の時間を利用される人もいます。最近では短期間で終了する治療も実施していますのでご相談ください。

# 患者支援センターからのご案内

## 研修会・勉強会・カンファレンス開催のお知らせ

都内での感染拡大状況を考慮し、外部の方をお招きしての研修会を含め当院で行う研修会・カンファレンスの開催を原則中止しております。再開の際には改めてお知らせいたします。

※研修会の中には院内の職員のみで開催するものもございますが、外部の方の参加は受けつけておりません。何卒ご了承ください。

## 医師異動のお知らせ

### 退職医師(3月31日付)

内科/部長 中村 守男 (ナカムラ モリオ)

内科/副医長 谷山 大輔 (タニヤマ ダイスケ)

内科/医員 長田 眞 (オサダ マコト)

内科/医員 青木 優 (アオキ ユウ)

内科/医員 白井 優介 (ウスイ ユウスケ)

内科/医員 桐田 圭輔 (キリタ ケイスケ)

内科/医員 倉田 英明 (クラタ ヒデアキ)

内科/専修医 丸木 孟知 (マルキ タケトモ)

内科/専修医 緒方 暁彦 (オガタ アキヒコ)

内科/専修医 韓 可 (カンカ)

内科/専修医 西岡 謙 (ニシオカ ケン)

内科/専修医 高橋 祥子 (タカハシ ショウコ)

内科/専修医 下濱 祥 (シモハマ ショウ)

内科/専修医 松垣 道博 (マツガキ ミチヒロ)

内科/専修医 相馬 友美 (ソウマ トモミ)

内科/専修医 河野 恵 (カワノ メグミ)

外科/顧問 廣谷 隆 (ヒロタニ タカシ)

外科/医員 小林 陽介 (コバヤシ ヨウスケ)

外科/医員 門多 由恵 (カドタ ヨシエ)

外科/専修医 坂坂 浩加 (ホサカ ヒロカ)

外科/専修医 柳下 陽香 (ヤナギシタ ハルカ)

外科/専修医 井本 智博 (イモトモヒロ)

整形外科/専修医 丹羽 隆文 (ニワ タカフミ)

整形外科/専修医 前田 隆浩 (マエダ タカヒロ)

形成外科/医員 西紋 まり (ニシモン マリ)

泌尿器科/医員 丹羽 直也 (ニワ ナオヤ)

泌尿器科/専修医 神澤 健 (カミサワ ケン)

産婦人科/専修医 王 洪欣 (オウ コウキン)

耳鼻咽喉科/医員 遠藤 理奈子 (エンドウ リナコ)

麻酔科/医員 川副 明生 (カワソベ エミオ)

救急診療科/専修医 道浦 悠 (ミチウラ ユウ)

救急診療科/専修医 菊岡 吉朗 (キクオカ ヨシロウ)

### 新採用医師(4月1日付)

内科/医員 竹原 朋宏 (タケハラ トモヒロ)

内科/専修医 今村 峻輔 (イマムラ シュンスケ)

内科/専修医 井村 友理 (イムラ ユリ)

内科/専修医 黒川 安晴 (クロカワ ヤスハル)

内科/専修医 佐藤 翼 (サトウ ツバサ)

内科/専修医 佐藤 晴紀 (サトウ ハルキ)

内科/専修医 島貫 結衣 (シマス キユイ)

内科/専修医 須釜 一博 (スガマ カズヒロ)

内科/専修医 杉 渉 (スギワタル)

内科/専修医 東谷 優 (ヒガシヤ ユウ)

内科/専修医 三守 賢 (ミモリ ケン)

内科/専修医 宮川 明 (ミヤカワ アキラ)

内科/専修医 村瀬 直人 (ムラセ ナオト)

外科/医員 岩間 望 (イワマ ノゾミ)

外科/医員 林 応典 (ハヤシ マサノリ)

外科/医員 川合 雄二郎 (カワイ ユウジロウ)

外科/専修医 澤野 貴亮 (サワノ タカアキ)

外科/専修医 過外 真隆 (スギト シンリュウ)

外科/専修医 林 秀行 (ハヤシ ヒデユキ)

外科/専修医 尤 礼佳 (ユウ レイカ)

整形外科/専修医 竹之下 真一 (タケノシタ シンイチ)

整形外科/専修医 村上 のぞみ (ムラカミ ノゾミ)

泌尿器科/医員 前田 高宏 (マエダ タカヒロ)

泌尿器科/専修医 小森 貴大 (コモリ タカヒロ)

産婦人科/専修医 石川 直嗣 (イシカワ ナオツグ)

眼科/医員 小澤 信博 (オザワ ノブヒロ)

耳鼻咽喉科/専修医 西山 潤 (ニシヤマ ジュン)

救急診療科/専修医 藤岡 舞 (フジオカ マイ)

救急診療科/専修医 若原 聡汰 (ワカハラ ソウタ)

病理診断科/専修医 船越 泉 (フナコシ ゼミ)

麻酔科/部長 佐藤 暢一 (サトウ ノブカズ)

麻酔科/医員 馬場 寛子 (ババ ヒロコ)

## 患者支援センター 地域連携室まで

【平日】8:30~19:00 【土】8:30~12:30

TEL. **03-3451-6132**

FAX. **03-5232-0260**

つながらない場合は

TEL. **03-3451-8211**(代表)

内線: **5163**または**5164** におかけください。

※各科外来(一部除く)と、検査(MRI、CT、RI、マンモグラフィ、注腸、心エコー、運動負荷心電図、腹部エコー、ドブラ、上下部内視鏡等)のご予約などをお受けしています。

